

代表質問

令和6年9月議会

奈良県議会議員(葛城市選挙区) 会派:自由民主党・無所属の会



西川ひとし

代表質問内容

- ①広域防災拠点の整備について
- ②国民・全国障害者スポーツ大会について
- ③「飛鳥・藤原の宮都」世界文化遺産登録について
- ④奈良県職員の公益通報窓口について
- ⑤第77回全国植樹祭の開催について
- ⑥保育の人材確保について
- ⑦道路整備の推進について



五條のメガソーラーは断念も 南部振興はおざなりですか？

こんにちは、西川ひとしです。9月定例会は10月23日に閉会し、一般会計補正予算や奈良県道路基本計画の変更など21の議案を承認・可決しました。また、この議会において私は自民党無所属の会を代表して質問を行いましたので、内容を報告させていただきます。知事の答弁が終わった後、議席から南海トラフ地震などに対する防災拠点に関連して、改めて山下真知事に、災害時における電源確保を、メガソーラーで賄う考えについて質問しました。知事はメガソーラーの必要性を延々と述べたうえで、考えに変わりはないとしました。しかしながら、五條市への設置については条例のこともあり、了承が得られれば議会に議案を提出したいと発言。未練を残しながらも、強行に進める意志を示さず、実質的に断念しました。あと、残念なのは、全国植樹祭は平城宮跡を会場として、南部の開催については考えていないということです。専門の委員会の意見を受け入れたことですが、北高南低の格差の現実を、知事にはもっと知ってほしいと願うばかりです。南部振興をおざなりにしていると言いたいところ

です。

▼広域防災拠点の整備について

質問

災害応急対策検討部会の間とりまとめでは、北部中核拠点および南部中核拠点の2拠点を中核とする災害応急対策の方針が示されたが、この方針に至った考えを伺いたい。また、南海トラフ地震が発生した際、奈良県は被害が比較的少ないと想定され、近隣府県への応援が期待されるが、所見を聞きたい。

援が期待されるが、所見を聞きたい。

山下真知事

北部中核拠点および南部中核拠点を中心とする広域防災拠点の配置スタイルを比較し、体系的に整理した結果、両拠点が連携して災害対応に当たることを決定した。各広域防災拠点の機能や規模を整理し、支援物資の受け入れに必要な面積を算定した。北部中核拠点は、県立橿原公園や医大新キャンパスなどの施設を活用し、救助活動拠点や物資輸送拠点として整備する。南部中核拠点は、五條県有地を活用し、救助活動拠点や物資輸送拠点として使用する予定だ。特に南部中核拠点では、ベースキャンプやヘリポートなどの施設を整備し、災害対応の中心拠点とする。南海トラフ地震の際には、近隣府県への応援も重要であるという意見が検討部会から寄せられた。大規模災害が発生した場合、まずは県内の災害応急対策が優先されるが、近隣府県との連携も視野に入れ、県内の防災拠点を活用した訓練などにも取り組む。

▼国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けたスポーツ施設の整備について

質問

新設アリーナの整備場所について、橿原公苑以外の場所も含めて広く検討すべきではないか、知事のご意見を伺いたい。大会後のスポーツ振興を見据えて、県全体のスポーツ施設充実について、市町村の施設整備への支援方針を効きたい。

山下真知事

令和6年度予算において、新アリーナの必要面積や他事業での活用可能性、

また中心地域に位置することを条件に、橿原公苑以外の候補地を検討したが、民有地の買収に時間的余裕がないことが判明した。しかし、6月議会では「スポーツ文化防災の機能を複合するべき」との意見もあり、さらに7月22日には奈良県と橿原市によるまちづくり協議会が開催され、医大新駅周辺へのにぎわい施設の提案もあった。そこで私は、医大新駅西側へのアリーナ整備を提案し、橿原市長から協力の了承を得た。この候補地は県有地と市有地を合わせて約2万8000平方メートルを確保でき、条件を満たすものと考えている。また、スポーツ施設の市町村支援については、昭和59年の若草国体時に整備された多くの施設が老朽化しており、これを改修することが重要だ。県としても施設改修費用の補助を継続していく。

▼「飛鳥・藤原の宮都」の世界文化遺産登録について

質問

「飛鳥・藤原の宮都」が世界文化遺産の国内推薦候補に選定されたことについて、知事の所見と、令和8年の世界文化遺産登録に向けた意気込みを伺いたい。

山下真知事

「飛鳥・藤原の宮都」が国内推薦候補に選定されたことは、長年の取り組みが結実したものであり、橿原市長や桜井市長、明日香村長、県議会議員、そして県民の皆様の努力によるものと認識している。また、国内外の専門家の皆様のご指導に感謝する。今後、文化審議会が示した課題に取り組み、推薦書の明確化や保護措置の充実を図り、令和8年の登録に向けて全力を尽す。さらに、外交面でもリーダーシップを発揮し、国内外でプレゼンテーションを行う必要がある。協議会としても引き続き努力し、県民とともに心を一つにして登録に向け邁進していく。

▼**県職員の公益通報窓口について**

**質問** 公益通報を行った職員の保護の観点から、匿名性の確保や公正な判断が行われるよう、県行政機関外部にも公益通報窓口を設置すべきではないかと考えるが。

**山下真知事** 県では、平成18年に公益通報者保護法が施行され、同年10月に総務部人事課に公益通報窓口を設置した。積極的な通報が行われるよう、年2回の窓口周知を行っているが、通報者の保護や匿名性の確保が重要だ。現状の内部窓口だけでは不十分であり、今年度中に組織から独立した外部通報窓口を新たに設置する予定だ。組織全体のコンプライアンス推進を図る。

▼**第77回全国植樹祭の開催について**

**質問** 第77回全国植樹祭が令和9年度に奈良県で開催される予定だが、どのような大会を目指しているのか。また、現在の準備状況についても併せて伺いたい。

**山下真知事** 全国植樹祭が開催されることは非常に光栄なこと。昨年度設置された準備委員会では、基本理念や開催候補地を検討し、奈良市の平城宮跡を会場候補地に定めた。この大会では、奈良県の自然や歴史文化の魅力を全国に発信し、訪れる人々が「また来たい」と思うような温かい大会にしたい。さらに、先人たちの営みを受け継ぎ、100年後の未来に向けた希望を持てる大会にしたい。

▼**保育の人材確保について**

**質問** 待機児童解消のため、保育士等の確保にどのように取り組んでいるのか。

**山下真知事** 保育士の確保は、給与引き上げや処遇改善が不可欠。令和5年度の調査では、7割以上の保育士が「給与が低い」と回答しており、県外への人材流出が大きな課題だ。このため、8月には保育

士給与の改善を国に要望した。加えて、県内保育施設に勤務する保育士の給与加算を実施する市町村に対し、県が補助を行う制度を開始し、大きな効果を上げている。また、保育士資格を持ちながら未就業の保育士に対して、キャリアアドバイザーによる復職支援も強化している。

▼**道路整備の推進について**

**質問** 「奈良県道路整備基本計画」が平成26年に策定されてから10年が経過したが、この間、どのような成果があったのか。また、この度計画が改定されるが、今後奈良県の道路整備をどのように進めていくのか。

**山下真知事** 平成26年に条例を制定し、これに基づき、今後5年間の道路整備の方向性を示す計画として「奈良県道路整備基本計画」を策定した。この計画は、多様化するニーズや様々な課題に対応するため、道路整備の目的を明確にしながら、体系的かつ総合的・計画的に進めていく。また、令和元年の計画改定では、新規事業化における評価基準の充実や評価実施プロセスの徹底を図り、選択と集中の考え方を一層進化させ、整備促進に努めた。この計画に基づき、「橿原ジャンクション」の大阪方面接続ランプの供用が見込まれており、奈良県の道路整備における進展が近畿圏内で2位、全国でも10位となっている。こうした道路整備の取り組みは、地域経済の活性化に大きな効果をもたらしていると考えられている。さらに、紀伊半島アンカールートを構成する国道168号線においては災害に強い道路整備が着実に進んでいる。しかしながら、奈良県の道路整備率は依然として全国最下位であり、道路整備をさらに加速させる必要がある。引き続き、道路整備の加速化と計画的な維持管理を進め、激甚化・頻発化する災害に対応し、県内経済の発展や県民の安全・安心の確保に努めていく。

**ひとしのひとりごと**

○…全国植樹祭は、地域の緑化活動を推進し、森林の重要性を再認識するための大切なイベントです。奈良県南部もその豊かな自然環境を活かし、開催地となることを期待していましたが、残念ながら今年はその機会を逃してしまいました。私にとっても、地域住民や関係者にとって大変残念な出来事です。

○…県南部は、吉野山をはじめとする美しい山々や豊かな森林資源を有しており、植樹祭にふさわしい自然環境が整っています。また、南部地域には多くの地域資源があり、地元の特産品や文化も豊かです。このような地域の魅力を発信する絶好の機会である植樹祭が開催されないことは、地域振興や観光の観点からも惜しまれます。

○…全国植樹祭が実施されることで、地域住民が一堂

**植樹祭の会場選びは返す返すも残念**

に会し、植樹活動を通じて環境保護の意識を高めるだけでなく、地域の団結を強めることができます。さらに、参加者や観光客が地域に訪れることにより、地元の経済活性化にも寄与することが期待されます。開催地が南部であれば、地域の自然や文化に触れる貴重な機会を提供できただけに、その開催が実現しなかったことは非常に残念です。

○…このような機会を失った今、奈良県南部はどのようにして地域の緑化や環境保護に取り組んでいくべきでしょうか。地元の学校や団体と連携し、地域内で小規模な植樹活動を継続的に行うことや、地域の特産物を使った環境教育プログラムを実施することが考えられます。また、南部地域の魅力をアピールする取り組みを進めることで、南部の振興につながるイベントを誘致していくことが大切だと考えます。



**奈良県の“北高南低”解消!**

県政に関する疑問や質問は、西川ひとしにお寄せください。

〒639-2142 葛城市北道穂 117-3  
TEL:0745-69-1234 FAX:0745-69-7891